



たんぽぽぐみだより

2021年7月1日
尚徳福祉会おぐら保育園

園庭に出るとアリやダンゴムシだけでなく、小さなバッタやハサミムシを見つけて子どもたちが見せてくれるようになりました。今月から水遊びも始まり、いよいよ夏本番になってきますね。水分をしっかりと摂り、熱中症等には十分気を付けながら夏ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思っています。

きょうはどうなってるかな

子どもたちが選んで種を蒔いたナス、ゴボウ、スイカ。子どもたちは園庭に出る度に真っ先に畑を見に行っています。「花が咲いたよ!」「虫が集まってきてる!」「ナスが6個も出来た!」「スイカはどこから出来るのかな」と子どもたちが話している声も聞かれます。野菜を育てているのがまだわからない乳児さんが畑に近付くと「これは育ててるから触らないでね」と優しく声を掛けて手を繋いで連れて行く姿もあり、ただ野菜を育て収穫するだけでなく、意見の交換や他クラスとの関わりのきっかけにもなっています。あとは保育者も未体験のゴボウがどうなるか……!!??保育者も日々の成長を楽しみにしています。



こうしたらどうだろう?

「金曜日の夕方に一回片付けよう」「使って無かった子もみんなで手伝おう」「小さいものは入れ物に洗濯ばさみを挟んでおこう」と子どもたちと飾り棚は「こういう時どうしたらいいかな」という投げかけを保育者がし、ルールを子どもたちで考え、今ではすっかり定着してきました。最近らQを「パーツ毎に複数の入れ物に分ける」とどうなるかを子どもたちと試しています。使いたいパーツがすぐ見つかる反面、遠い入れ物を取るのが大変…。子どもたちが「取れないから貸して」と言ったり自分が歩いて入れ物まで移動したりと考えながらいい方法を模索中です。



～待ちに待ったバス遠足!!～

6/25はずっと楽しみにしていたバス遠足!先に下見に行った写真を見て「先生達だけズルい～」と毎朝「あと〇〇回寝たらバス遠足」と指折り数えていました。実物のローラーすべり台を目の前にしたらちょっとコワい～と言いながらもいざみんなで滑ったら大笑い。オバケが出ないように歌いながら歩いた真っ暗なトンネル、広いはらっぱで食べた弁当、芝の上を走ったり転げまわったりして遊び、そしてずっと楽しみにしていたミニSLに乗り…と汗をかきながらこどもの国をぐるっと歩いて遊びつくしました。SLを乗り終わると丁度雨がパラパラ降り始めたので急いでバスに戻り、帰りは車内でみんなぐっすり。それでも目が覚めるとすぐ「次はいつ行けるの?」「ゆり組になったらどこ行ける?」と楽しみにしていました。大成功のバス遠足となりました。



～お願い～

- ・7月より水遊びが始まります。水遊びの案内についてはクラスの掲示をご覧ください。
- ・暑くなり汗をかきやすい季節になってきましたので、多めに着替えのご用意をお願いします。汗により記名が薄くなっている物がありましたらご確認の上、再度記名をお願いいたします。
- ・クラスにある着替え入れの中にフェイスタオルを2枚ほど入れておいてください。